



サイバーサイエンスセンターとシュトゥットガルト 大学高性能計算センターが高性能計算に関する研究 協定を締結

雑誌名	SENAC : 東北大学大型計算機センター広報
巻	42
号	3
ページ	34-34
発行年	2009-07
URL	http://hdl.handle.net/10097/00124536

サイバーサイエンスセンターとシュトゥットガルト大学高性能計算センターが 高性能計算に関する研究協定を締結

平成 21 年 4 月 21 日（火）、本センター大会議室において、サイバーサイエンスセンターとシュトゥットガルト大学高性能計算センターにおける研究協定締結の調印式が行われました。協定の締結は、本センターの小林広明センター長とシュトゥットガルト大学高性能計算センターのマイケル・レッシュセンター長との間で調印されました。

この協定は、これまで築いてきた高性能計算に関する協力関係をより一層強化発展させるために締結され、具体的には次の事項について連携・協力を推進していきます。

1. 技術交流・情報交換及び人材交流・人材育成
2. セミナー、シンポジウム等の共同実施
3. 技術的な評価のためにコンピュータシステム及びプログラムの相互利用
4. コンピュータプログラムや高性能計算技術に関する共同研究等による研究開発

また、両センターは次の事項について共同研究・開発を推進します。

1. ハイブリッドコンピュータアーキテクチャ
2. 大規模ベクトル並列処理技術
3. マルチフィジックス、マルチスケール連成計算技術

シュトゥットガルト大学は 1829 年に創立され、現在 14 学部、21,000 人の学生を擁する工科大学で、契約ベースの研究活動は、全ドイツの大学の中で最大の規模を誇り、実践に役立つ効率的な研究活動を行っています。高性能計算センターはシュツットガルト大学に併設された国立計算センターで、ドイツの大学だけでなく、産業界にあらゆる目的に対応した計算リソースを提供するサービスを実施しているほか、科学技術計算のためのツールの提供、科学技術計算の専門技術も提供しています。同センターはドイツ教育省が高性能コンピューティング基盤の整備を目的に立ち上げたプロジェクト「D.GRID」と、EU がヨーロッパにおける高性能コンピュータシステムの構築を目的に立ち上げたプロジェクト「PRACE」の両プロジェクトから支援を受けております。

